

地図を文章で

足利市立葉鹿小学校 小 高 唯 夫

1 はじめに

どういふわけか作文というと、情緒的なものばかり尊重する傾向がある。奥水実氏は「生活つづり方は、感覚性・心理性は高いが、思考性は低い。外国のような説明文を書く、レポートを書くのは、思考性が高い。」と述べている。①

ところで、現在の社会は情報化社会といわれている。情報という点から考えると、情緒的な文章はあいまいであったり、非論理的であったりするものが、かなり多いといえる。

このレポートは、情報を整理し、正確に伝える訓練のひとつとしてとりあげたものである。かなりの独断があると思う。批判をいただきたい。

2 実践事例

- (1) 題目 地図を文章でかく
- (2) 目標 情報を整理し、正確に内容を伝える。
- (3) 指導にあたって

ア 設問

つぎのような問題を与える。

「旧足利市内におられる先生が、葉鹿仲町のバス停まできて、そこから6年1組の教室まで間違いなく到着できるように歩いてくる経路を教えてほしいといっておられる。そこで、これを地図に書かないで、できるだけ、簡単に要領よく、しかも間違いがおこらないように知らせなさい。」

イ 指導日時・児童数・その他

- ・昭和47年5月31日………1回めの文を書く。
- ・ " 6月 5日………2回めの文を書く。
- ・児童数 6年児童 男21 女14 計35
- ・文章構成は、KJ法を利用②

(4) 指導計画

- 1次 設問にしたがって、KJ法によって文章を構成させる。……………(1)
構成カードをもとにして、作文を書く。……………(1)
- 2次 1次の作文の問題点を見出し、『作文スキル(光文社)』によって、文の書き方をわからせる。……………(2)
- 3次 2次のねらいをもとにして、再びKJ法によって文章を構成させる。……………(1)
構成カードをもとにして、作文を書く。……………(1)

(5) 指導の反省・結果の処理

1次の作文についてまず述べる。一般的にいて、情緒的である。

ア 題目について

情緒的な題目が35名中29名、女子は全員である。その主な例を記述してみる。

- ・ 学校はいずこ
- ・ 母校までの旅
- ・ 先生よ早く小学校へ
- ・ まい子になるな
- ・ 6の1をさがせ
- ・ 6年1組までのぼうけん
- ・ 知らない町の旅
- ・ 正しくこられるかな
- ・ 楽しい旅

イ 記述について

この文でねらったことは、相手が迷わないことである。それだけでなく、書いたことがらと、現実の情景とが対応しなくてはならない。ところが、児童たちは、自分がいつも通っている道なので、相手もわかっているものと考えている。

(例文)1 SS51 男

(A) 足利から桐生行きのバスにのり阿部医院前でおる。(B) おりると十字路がある。(C) 十字路には信号機がある。(D) その十字路をわたる。(E) すると、そこに歯医者がある。(G) 歯医者からしばらくいくと、また十字路がある。……(以下略)

はじめて、訪れる先生が現実の情景と対応できるだろうか。否である。(A)は、まず問題はないだろう。(B)では、すぐ十字路があるように読みとれるが、現実はそうではない。また、バスの進行方向と、どういう関係になっているか、これだけではわからない。(E)の文では、十字路の所に歯医者があるように思われるが、そうではない。(G)のしばらく行くというのも問題がのこる。

また、一時的なものは目標にならないことを、児童は理解できない。次の文は、その典型的なものである。

(例文)2 SS55 女

(A) そこには、農協と建設中の家があります。(B) そこをいくと線路があります。(C) 線路のそばにも建設中の家があります。(D) もうすこし行くと学校があります。(E) 学校の庭には、ブロックが、うめこんであります。(F) ブロックには、パンヂーの花がきれいにさいています。

(A)と(C)の建設中の家は、この時点でほとんど完成している。完成してしまえば目標にならないことはきまりきっている。(F)の文のパンヂーは、いつまでも咲いていることやわからないものである。

つぎの文は、経路に関係のない情緒的な文である。こういった傾向は、女子に数多くみられた。

(例文)3 SS50 女

(A) 信号機の前には、石井パン屋というしゃれた店がある。……(中略) (B) その右の方には、柴田屋という、ふとったおばさんのいるやおやがある。……(略) (C) ななめ前には、増山という、とてもおいしい、お菓子屋がある。

(A)のしゃれた店、(B)のふとったおばさん、(C)のとてもおいしい……これらは彼我の美的・生活的感覚の差などによって、たちまち客観性を失ってしまうことになる。

地図を文章で書くときは、内容が一義的であることが、必要だが、その表現になると、かなりむずかしい。

距離をあらわすのにメートル法で表現したものもある。比較的客観性があるようだが、これも問題がのこる。すなわち、児童のみた距離のメートルは、本当に正しいのか、また距離オンチの先生には、さっぱり通用しないのではなかろうかという二点である。

(例文)4 SS48 男

① また、バスが走ってきた方向をむきます。② そこから $21m50cm$ ぐらい行くと信号機があります。③ そこを右にまがって 435 歩あるきます。④ そこに十字路があります。

どのようにして、このような単位をみつけたのだろうか。 $21m50cm$ とは、おそれいた話である。

2次の作文について述べよう。1次の問題点を指導したり、「作文スキル」を使用したので、次のような結果になった。

ア 題目について

情緒的なものがへって、説明的なものがふえてきた。その主なものを記述してみる。

・ 6年1組までの案内 ・ 6年1組までの道順案内 ・ 文章での道案内
などが、35名のうち、20名であった。しかし、

・ きれいな道、悪い道 ・ 文章で目的地へ ・ 先生が歩く道 ・ 正しく行けるかな

などの1次と同じような題目もみられた。

イ 記述について

一般的にみて、情緒的なもの、一時的な目標、多義的な説明がかなり減少した。

(例文)5 SS55 男

① 桐生天神町行きのバスにのる。② 葉鹿仲町阿部医院前でおる。③ バスの走ってきた方向をむく。④ まっすぐ行くと信号機のある十字路がある。⑤ その十字路を向っていく方向からみて右にまがる。

ここで、例文1と比較してほしい。③と⑤の文をとくに留意してほしい。

菊地誠は、「一義性が、はっきりあらかわせないときは冗長度に頼る方がよい。たとえば、「そのかどの左の向こう側が古道具屋、左の手前が酒屋、酒屋の……冗長度をあげることによって迷う可能性を減らせるわけである。」と述べている。③

例文5も冗長度のある文章といえるのではなかろうか。ところで、冗長度のあると思われる文が、男12名、女7名と増加した。また、はじめに概略を書き、つぎにその詳細を書くという、いわゆる新聞の文章スタイルも、男4名、女5名となった。

(例文)6 SS57 女

① これから葉鹿小までの道案内をします。② だいたいの道のりは、 $350m$ ぐらいです。③ まとめていうと、とてもかんたんです。④ 十字路を3つこえて、ふみきりを渡り、4番目の校舎の所へ行けばよいのです。⑤ それでは、これからくわしく説明、道案内をしましょう。といった具合である。

ウ 1次指導のときにみられなかった、児童の態度

1次指導のときみられなかった現象は、次の2点である。

・ 略図をかいてから、KJ法を活用した。(男18 女12)

・ 実際にコースを歩いて、現場を調査し、その後、文章表現した。(男5 女12)
この実際に現場を調査したり、略図をかいたりしたことは、体験(行動)情報-映像情報-言語情報という、ブルーナーの表象理論と比較して、かなり興味ある現象といえよう。

3 結論として

今まで私は、正確に知識内容を伝えるために、日本語をどう使用したらよいかという訓練をしてこなかった。作文というと、あまりにも情緒的な面を強調してきたきらいがあった。

さきほどの菊地誠は「情報化社会での処置や伝達には、単純で、ごちない数学の式のような言葉の方が向くのではないか」と述べている。④

ところで、こういった作文についての児童の感想は下記の通りである。

	男	女	計
心情的・情緒的な作文を好むもの	2	13	15
知識・内容を伝える "	17	1	18
わからない	2	0	2
合計	21	14	35

男子は、心情的な表現はやりにくいという。これに反して女子は、文章を書くと、どうしても、心情的・情緒的になってしまうと報告している。いずれにせよ、情緒的なもの・知識・内容を伝えるものといった両者の訓練は必要である。

さて、的確に意思を伝える客観的尺度としては

- ・ 名詞の正確さ
- ・ 時間・大きさ・分量の数量化

などが、あげられるだろう。動物学者の文章などを読むと、この2点を強く感ずる。シートンの「動物記」、ファーブルの「昆虫記」を読んでみると、いたるところで、このことが発見できる。しかし、京都や札幌のように道が行儀よく、たて・よこに交叉しているところは、いざしらず、葉鹿の町(これは一般の都市でも同じ)の表現は、かなりむずかしいものだというところをつくづく感じた。

引用文献

- ① 輿水 実 言語と思考(8回) 国語教育 16 133 PP127~129
 ② 川喜田二郎 問題解決学(KJ法ワークブック) PP19~45 講談社
 ③ 菊地 誠 情報人間の時代 PP88~95 実業之日本社
 ④ " " " "

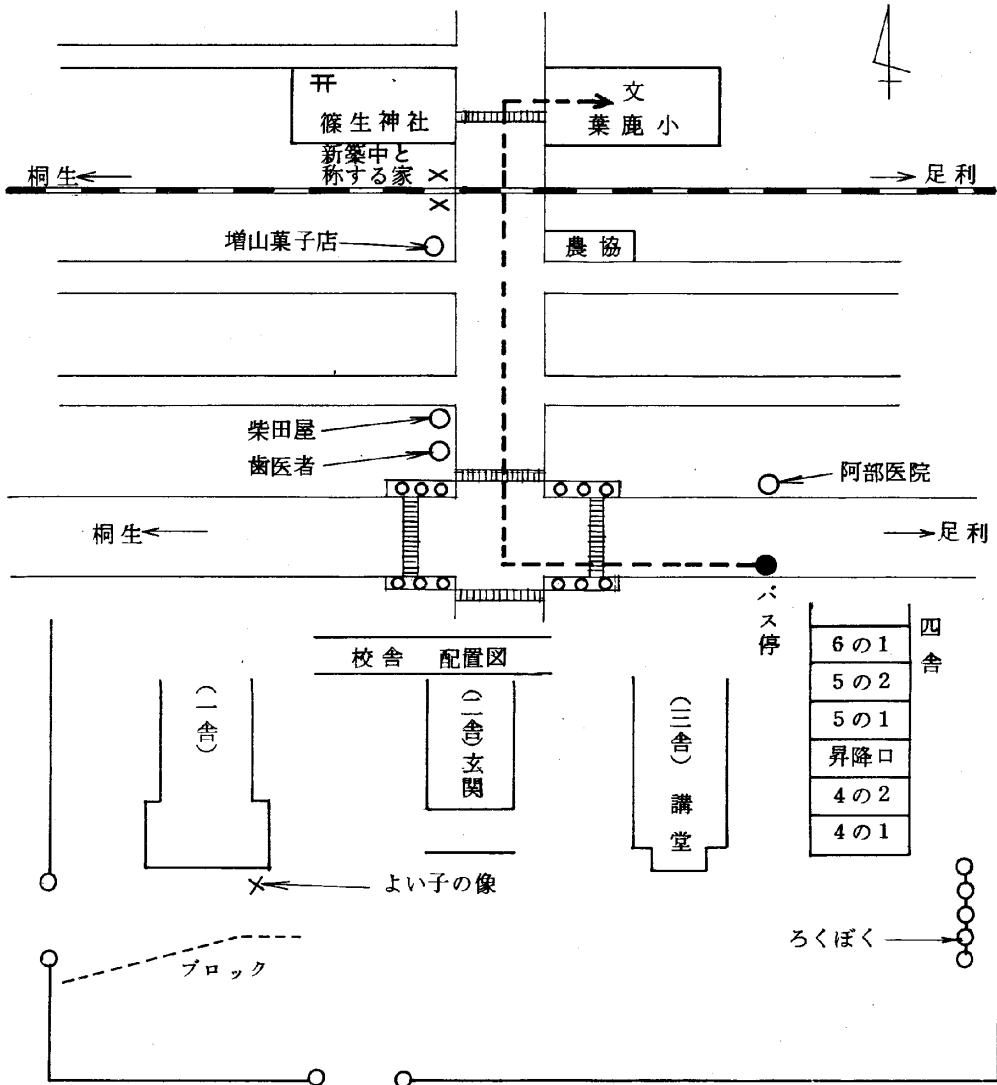
4 作文例

ア 自分が知っている相手もわかっていると思っている型

ぼくらの6年1組 石井 勝

桐生天神町行きのバスにのる。葉鹿仲町といったらバスからおりる。スーパーに向って右へ歩く。上の信号をみて、菓子屋のかどで、その逆の方向に行く。そしてまっすぐ進む。

バス停（葉鹿仲町）より葉鹿小までの略図



4. 作文例

ア 自分が知っている相手もわかっていると思っている型

ぼくらの6年1組 石井 勝

桐生天神町行きのバスにのる。葉鹿仲町といったらバスからおりる。スーパーに向って右へ歩く。上の信号をみて、菓子屋のかどで、その逆の方向に行く。そしてまっすぐ進む。

ふみきをこえ、さらにまっすぐ進む。ひょうしきが見え、それに向って右へすすむ。

校庭へ行く。そして高い風速計の方へ歩く。昇降口にはいる。廊下をあるいて、3番目のひょうしきが、6年1組である。

イ 概説から詳細へという型

道のり

伊藤真由美

私が葉鹿小学校まで案内いたしましゅう。だいたいの道のりは350mぐらいです。まとめていうと、とてもかんたんです。十字路を3つこえて、ふみきを渡り、4つめの校舎のある所までいけばいいわけです。これでは、かんたんすぎてわかりませんから、これからくわしく教えましゅう。

まず、先生のスんでいる所から「桐生天神町行き」のバスにのってください。しばらくすると、「葉鹿仲町」というはずです。そこでおります。

次に、バスの進む方に向いてください。左手に「黒川」という呉服店がみえます。そのまま向いた方向を、約10mぐらい行くと十字路が見えます。そこを向って右手にまがります。そこには「松島」という化粧品店があります。……以下略

ウ 2次作品の代表的なもの

葉鹿小までの案内

中山登美子

いま、おりた停留所は、葉鹿仲町である。そこから、葉鹿小学校6年1組までの道案内をする。停留所の附近には、黒川という呉服店がはるはずだ。桐生天神町行きのバスが、行った方向へ歩いていく。すると横断歩道がある。その横断歩道を、松島百貨店のある方へわたり、柏瀬歯科医院のある方へ進む。

すこし行くと、火見櫓が目につくことだろう。火見櫓がある方と、反対の方向に矢田モーターズがある。その前は西農協である。西農協の十字路をはさんで、増山という菓子屋がある。

西農協のうらには、公衆電話がある。公衆電話からすこしはなれたところにとこ屋がある。とこ屋のあい向いに、文房具店がある。その文房具店から、ちょっとはなれたところに、ふみきりがある。そのふみきりを渡って2けんめにパーマ屋がある。

そこからでは、ささご神社の鳥居が見える。鳥居を左手にみて、すこし進むと葉鹿小の門がある。門をくぐると、ずっと手前には、ろくぼくがあり、右にはブランコ、左には「よい子の像」がたっている。ろくぼくのある所まで行き、今とおった門の方を向き右に進む。すると昇降口が左にある。

昇降口にはいると、かき置き場が中央にあり、水のみ場がある。廊下は、右手・左手の両側に通じており、前は講堂である。講堂の方を向き、向って右の廊下の方へ行く。廊下から3ばんめの教室が6年1組である。

評

作文指導というと、われわれはつい従来の綴方教育とか文芸的な作文教育を頭に描きがちである。そして、子どもたちの作文に、いつでも高度な思想や文芸的な価値を期待しすぎてはいないだろうか。もちろん、作文指導のねらいの中には、このような面もないわけではないが、国語科という限られた時間の中でやらなければならない作文ということを考えてとき、直接めざすものは、やはり、作文の基礎的な諸能力の養成である。この意味において、取材・構想・記述・推考などの諸技能を学年に応じていかに身につけさせるかという本来的な作文の実践研究が、おおいに期待されるわけであるが、小高先生の実践は、この点まさに本質をふまえた、しかも、ユニークな研究である。

また、本実践には、作文指導において「あまりにも情緒的な面を強調しすぎた」という反省にみられることばの伝達性への認識とか、方法的にもKJ法の活用(科学化)など、示唆に富むものが多い。